



三好さん撮影

大正琴・ベル・朗読劇団
ONE♥ハート
訪問ボランティア通信

2012年5月号
NO 133

15周年記念コンサート特集号

本部 0467-79-1379
支部 046-231-3285



15周年「心のコンサート」は
みんなにとって思い出の1ページ
になりましたね。
とても有意義な時になりました。

何人かの方々にコメントを寄せて
頂きました。
ご自分の思いと重ね合わせて
お読みください。

15周年を迎えて

前にもお話した事ありますが、お琴にさわった事もないので、せめて2,3曲弾けるようになったらいいな
と思ひ、先生にお願いして入りましてからいつの間にか15年になりました。
これも先生はじめお教室の皆様また近所の方たちのおかげと感謝し心からお礼申し上げます。
演奏の方はなかなか上手に弾けませんが、それでも普通の曲でしたら指が自然に動いてくれるようになりましたが、
細かいリズムや速いメロディーはなかなか上手に弾けません。きよしのズンドコ節等、楽譜を頂いた時、アッこれ
は駄目、とてもついていけないと思ひながら、皆さんと一緒に譜面の上をおかけたり、待ち伏せしたりさんざん
でした。それでも皆さんと何度か弾いているうちに何とか弾けるようになりました。やはり弾けるようになるには
練習しかない事を教わりました。

それから今つくづく思っています事、最初が大事という事ですね。はじめは指はどうしても何とか早く弾ける様
にと思ひ弾いておりましたが、やはり時間がかかっても最初からきちっと指を決めてぶれない事が大事と考える
ようになりました。時間が長くなってからですとなかなか直す事は難しいですね。

時々思うのですが、その日によって非常に身体が重くお教室へ行くのが辛いと思う事がありますが、帰りは
身体も心も晴れ晴れとして、軽い足取りで帰れます。为什么呢。お琴の音色が身体に良いのでしょうか。
それとも皆さんにお会いするのがいいのでしょうか。そういう事でいい気持ちにさせて頂いております。
何時まで出来るかわかりませんが、身体に気をつけて体の許す限りやっていたらと思ひしております。
これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

(大正琴柏ヶ谷生協 池端チエ)

ワンハート15周年記念「心のコンサート」を終えて

私の海老名ボイスのメンバーとしての活動は今年5年目に入り、ワンハート15周年記念「心のコンサート」に参加することができ、とても嬉しく思っています。
私は、今昔物語「春の別れ」では若君を、海老名の民話「尻尾で油を盗んだ狐」では小坊主(狐)をやらせて頂きました。
コンサート前、先生や先輩方にたくさんご指導を頂き練習をして来たのですが、中々、感情を込めた表現ができず、自分としては未完成のまま本番に挑んでいました。
でも当日見に来てくれた家族や友人、知人から、「心優しい若君に涙しました」「ちゃっかり屋の小坊主(狐)には笑われました」「まったく違う役を演じて、女優みたいだね」「とても楽しかったよ」と、
多くの嬉しい言葉を頂くことができ、本当に安心しました。
またコンサート前日には体調を崩してしまい、会場準備とリハーサルに参加することが出来ませんでした。当日メンバーの方々に助けていただき無事に終えることができました。
一番骨を折ってくださった先生方、海老名ボイスのメンバーの方々に心から感謝いたします。
これからも、朗読でたくさんの方々に喜んでもらえるように、この活動を頑張っていきたいと思ひています。

(海老名ボイス 河村真由美)

コンサートの感想とその後伺った栗原ホームの事

大正琴・ベル・朗読劇、揃ってのワンハート15周年のお祭り、楽しい雰囲気の中に
過ごすことができました。舞台横の陰マイク席に居ることが多かったのも、横からチラ
チラと垣間見ていましたが、大正琴の皆さま、素敵な衣装でした。お祭りにふさわしく
華やかで、舞台を盛り上げて下さいました。ベルの澄んだ音色・素晴らしいハーモニー
に、日頃のたゆまない練習がしのばれ、ちょっとだけベルを手にしてみたい…なんて。

朗読劇に身を置く者として、綾瀬・海老名・座間の各グループ、現代・中世など時代も
幅広く、素材も雅な世界から民話・落語っぽい作品とバラエティに富んで、観客の方々の
笑いも聞こえて、楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

話は変わりますが、先日自主活動でデイサービス訪問の際ステージに大きな画面のテレビが
置いてあるのを見て、ふと思いついて民話の冊子のDVDを使って朗読劇を演じてみました。

声だけより場面がわかり易いように思いました。(消音にしたので、BGMは入りませんが)

折角の挿絵ですので、これからも利用していきたいと思ひています。

(座間ボイス 石川宏子)

ベル演奏を終えて

2012年4月14日(土)海老名市文化会館小ホールでONEハート15周年記念コン
サートが開催されました。当日は雨の中多数の方々が会場にお越しいただきありがたござい
ました。第1部はPM13:00~第2部14:30~司会内藤さん、柏崎さん、石川さんで

進行されました。第2部綾瀬ベルは風・幸・宙・虹の4グループで1、星に願いを2、虹
の彼方へ3、見上げてごらん夜の星をの3曲を演奏しました。月2回の練習、自主練習
数回の合同練習で日々練習を重ねてまいりました。毎回ステージに立った時笑顔で楽しく
演奏したいと思ひながらなかなか出来ないものです。10年目にベルも入りますが、常に
新人の気持ちでお互い励ましあい支えあって頑張っていきたいと思ひます。
先生、皆さんご苦労さまでした!

(綾瀬ベル虹 別府光子)

アンケートより

当日会場でアンケートを書いて頂きました。
31名の方々の感想を抜粋してご紹介
いたします。

大正琴について

良くそろっていた。
よくそろっていて演奏レベルが高く安定している。
曲がいろいろ組み合わされ楽しませて頂きました。
タンゴのリズムにのり全身で弾いていて楽しそうだった。
大トリの演奏感動しました。
衣装すてきでした。
テンポの速い曲がよくそろっていた。
懐かしい曲の鼓々に楽しみました。



三好さん撮影

大正琴・ベル・朗読劇団 ワン ON E ♥ ハート 訪問ボランティア通信

2012年5月号 NO 133

続15周年特集とその他のイベント

本部 0467-79-1379
支部 046-231-3285

5月・6月の活動予定

5/27(日)	綾西ふれあい大正琴演奏会	ワンハート スピリッツ
6/11(火)	レスト厚木誕生日会	海老名ボイス
6/17(日)	サンライズお誕生日会	綾瀬ベル風など

お知らせ

1. 自主活動のリーダーの皆様へ。活動報告書の用紙を配布致します。5月末までに提出をお願い致します。
2. 15周年の記録DVDを希望者に配布します
各部門別 1500円(代金は配布時)

県央の民話・昔話25作品の冊子400部完成



綾瀬市長に冊子を手渡しました 4/26
市長 齋藤 内藤 川島

ボイスの総力を挙げて取り組んできた民話冊子が3月末に完成しました。前作の1冊目の反省も踏まえ数々の改良をして作成しましたので、ボイス自身でも達成感があります。購入にご協力頂きましてありがとうございました。これから小学校や図書館などに配布し、子供たちに地域の民話を楽しんで欲しいと願っています。高齢者施設でも懐かしんで頂けると嬉しいです。綾瀬市長さんも「色んな所で活用していきましよう。」と話されました。

心のコンサートを終えて

ワンハート15周年記念「心のコンサート」。指導の4人の先生。そしてワンハート出演者100名の皆様お疲れ様でした。無事終わり控え室で、ああ、やっと終わった！演奏の出来に満足、不満足の声が聞かれましたが、昨年演奏曲が決まり、どの教室でもこの日にむけ猛練習を重ね、メンバー全員同じ気持ちを抱いて、ステージに立ったのだらうと思います。

私は大正琴のメンバーですので、琴の部に感想を書かせて頂きますが、柏ヶ谷コミセンと生協のメンバーの方たちは、単独の演奏でしたが、中村(水)と南部ふれあい、寺尾いずみと座間、国分コミセンと中村(月)、この6教室が3つの合同演奏としての組み合わせが、とても良いアイデアだったと思います。他の教室のメンバーと顔見知りとなり、仲良くアンサンブルの楽しさを知り得たと思います。緊張と不安を抱きながら、ステージ演奏を重ねるごとに、アンサンブルの楽しさがわかってくるのだと思います。

演奏や朗読劇は、人にきいて貰って大きな喜びを感じ得るものです。今後もアンサンブルの楽しさを、ワンハートのメンバーと求めていきたいと思ひます。

(大正琴 寺尾いずみ 山岸 聖一)

心のコンサートによせて

ワンハート15周年記念「心のコンサート」が盛大に無事終了しホッとしています。

ボランティア活動を主としてのワンハートがこんなに大きな樹に成長した事は、仲間の一員として嬉しい限りです。

客席の皆様的心にも響いた素晴らしいコンサートでした。これもひとえに先生方のご指導の賜物だと感謝しております。また一生懸命練習に励み頑張ったグループ毎の絆の深さが充分感じられました。見に来てくれた友人が「5年後を楽しみにしているからね。」とエールを送ってくれました。

(大正琴 中村(月) 島西 英子)

さがみ野さくら祭りに参加して

4月7日、咲き誇る桜の元と書きたい所ですが、今年は新旧桜の植え替えて、写真の桜での舞台でしたが、花冷えの中、たくさんのお客様の満開の桜のような笑顔と拍手に迎えられ「さくら、さくら」から演奏が始まりました。次は、「太陽がいっぱい、さよならはダンスのあとに、柔」で15周年曲なので、良い試金石になりました。「ソーラン節、風雪流れ旅」と各分野の曲で司会者の方に感心されました。今回はグループの西村さんのご尽力で、申し込みから先方との折衝まで一人で行って下さりありがとうございました。観客の中には柏ヶ谷コミセンの方、一緒にボランティアをしている新日本舞踊の方、家族の方々が応援にかけて下さり、あるご主人からは、日頃辛口のコメントを下さるのですが、今回は「初めは、ばらつきもあったが全体的に強弱がしっかり表現出来ていて、良い演奏だった。10周年の時より進歩している。」とおほめの言葉を頂いたそうです。

私たちが日々練習にいそしみ、ボランティアを行えるのは、齋藤影山両先生のご指導、家族の理解、お仲間の励まし等、優しい愛情あつてのことと思ひ、大きな仕事をやり遂げたという充実感のある感謝の一日でした。これからも無理のないよう新しい事にチャレンジしたいと思ひます。

出演者 池端、西村、加藤、山口、矢内、高野

(文 高野和子)



さくら祭りで琴演奏の花が咲きました



ベルと民話を子供たちが熱演しました

綾瀬の3つの児童館でベル指導がスタート

{児童館ベルコンサート}の企画で寺尾・ながぐつ・小園の各児童館で3月にそれぞれ1日ずつ3日間にわたり、未就学児から小学生を対象にベルコンサートのお手伝いをさせて頂きました。(青少年課依頼)

曲は《春の小川》《ミッキーマウスマーチ》《マルマルモリモリ》どれも難しい。ベル・パーカッション・歌、踊りで別々の練習をし、最後にみんなで合わせてコンサートという形式です。

子供たちは練習を真剣に取り組み、すぐに出来てしまう事に驚かされます。《マルモリ・・・》では踊りが可愛らしく盛り上がりのひとつでした。最終日の小園児童館ではボイスの方も指導され民話も加え、ベルで《世界にひとつだけの花》を手話をまじえて演奏してコンサートを締めくくりました。

子供たちがこちらの指示も素直に聞き入れて協力してくれた事に感謝しています。

(文:写真 山田伊津美特派員)

アンケートより 朗読劇団ボイスについて

点字での朗読素晴らしいです。
お話と絵が合っていた。
心にしみた。気持ちが伝わった。
生の語りだからこそ感情が伝わった。
涙が止まらなかった。
引き込まれました。胸がジーンとしました。
スライドの絵が印象深かった。
田舎の両親を思い出して考えさせられました。

ベルについて

季節にふさわしい曲でよかった。懐かしい曲に感動した。
ベルの演奏で笑顔があるのもっと良かった。スウィングの曲楽しくきました。
ベルのみの美しさが良かった。
音色がとても綺麗でした。
ベルの音色を生かす選曲で素敵な演奏会でした。
トーンチャイムとベルがよく合っていた
演奏経験が豊富な感じがした。

全体的な感想

みんな良かったです。初めて来ましたが、本当に感動しました。とても良く練習されているのが伝わってきました。素敵でした。皆さんの一生懸命さが伝わってきました。ベルは笑顔どころでは、なかった様子でしたが、大正琴の皆さんはもう少し柔らかな笑顔で慰問されるとよいですね。